



サーカスと共に 全国巡る中学生

団員の娘・児島朱音さん

豊見城市の豊崎タウン特設会場で開かれている木下大サーカス沖縄公演(琉球新報社主催)。各地で公演する同サーカスが、児島朱音さん(14)と写真左Ⅱが団員の両親と共に11月下旬から乗桌し、

「沖縄の思い出つくる」

同市立伊良波中学校の2年生として学校生活を送る。2月3日の公演終了まで2週間を切り、朱音さんは「残り少ない沖縄生活を悔いなく過ごして、思い出をいっぱいつくりたい」と話している。

朱音さんの父は公演の花形、空中ブランコ担当の正実さん(39)。母は青竹渡りバランスショー担当の江利子さん(44)＝同右。両親が華麗な技で観客を魅了するのを間近で見ってきた。「かっこよくて憧れる」と誇らしげ。幼いころから両親と共に公演先を巡り、入学・転校を繰り返す朱音さん。各公演地での滞在期間は約2、3カ月ほど。沖縄生活も残りわずか。

読んで
広がる
NIE

「友達との別れは寂しいが連絡を取り合い交流を続けたい」と話した。